

2024 年度 一般社団法人日本疫学会 臨時理事会 議事録	
日時	2024 年(令和 6 年)8 月 22 日(木)13:00-14:00
場 所	Web 開催
出席者	(順不同、敬称略) 理事:玉腰暁子(理事長)、井上真奈美(副理事長)、関根道和(副理事長)、 岡村智教、三宅吉博、曾根博仁、片野田耕太、有馬久富、福島若葉、 近藤尚己、中田由夫、川崎良、後藤温、寶澤篤、郡山千早、三浦克之、 監事:和田恵子 学会事務局:菊池宏幸(事務局長)、糟谷里美
欠席者	(順不同、敬称略) 井上茂、小橋元、村上義孝、横山徹爾

- 理事会に先立ち、玉腰理事長より、理事・監事 17 名の出席により理事会が成立していることが確認された。

<協議事項>

1. 松尾恵太郎理事の退任について、6 月 14 日付けの退会に伴い、《代議員および役員の選任に関する細則》第 20 条 6 号「正会員の資格を喪失した理事は、理事の資格を失う。」に則り、理事を退任することが承認された。
また、松尾理事の退任に伴う理事および代議員の補充については、玉腰理事長より、予備理事候補者および中部ブロックの予備代議員候補者がいないため、補充を行わない旨の説明があった。
さらに、委員会等の役職の補充については、「疫学リソース利用促進委員会 リンケージ基盤推進 WG 長」を岡村委員長が兼任し、JE 編集委員会顧問に井上真奈美副理事長（前 JE 編集委員会顧問）が再任されることになった。
2. 広報委員会 メディア連携 WG の近藤尚己 WG 長より、懸案事項であった「メディカルジャーナリズム勉強会（以下「メディ勉」と記す）との連携」に関して、これまでの経緯とメディ勉についての説明があった。その後さまざまな視点から下記の意見が出され、①メディアとの連携は重要であるが、現在の状況ではメディ勉との連携は難しい ②日本疫学会が確固たる立ち位置でのメディアとの連携が可能な方法を今後も引き続き検討していく ③将来構想委員会報告書の内容を、時代の流れを踏まえながら精査・検討していく必要がある との合意を得た。
《当該事項に関する意見》
● 基本的にメディアとの連携を行っていくことは、疫学を正しく周知するためには欠かせないものである。
● 「将来構想委員会報告書」（2018 年 5 月 1 日発出）において、新しくメディア連携 WG を設置し、「マスメディアとの連携のためのマニュアル作成を支援する。その際、メディア側のガイドラインとのハーモナイゼーションを図り、既存のメディア向け講習会等との連携を深める。また、疫学会員のプレスリリースを支援する。」という方向性が示され、メディア連携 WG 長が真摯にそれに取り組ん

できた経緯がある。したがって、メディアとの連携は否定するものではなく、むしろ連携することは重要である。

● どのような形で連携するか、相互に委員を出すなどして検討していくことが必要ではないか。

● これまでに協定を締結した「日本運動疫学会」との連携は、学術団体との連携であるため、今回の連携とは少し趣旨が異なる。学術団体以外の団体との連携のあり方を検討していく必要があるだろう。

● メディ勉の参画団体に新聞社などのメジャーな団体がないことが気になる。他のメディアの参加実態を知りたい。

● メディ勉の発信提供者の中に、臨床領域の方針と異なる考え方の方がいることに懸念がある。

● 日本疫学会の名前が利用されるかもしれない、という不安が拭えない。

● 日本疫学会の広報委員会 メディア連携 WG 委員が、メディ勉において運営に携わっていることについて、(COI 的に) きちんと説明ができるようにすることが必要である。この点については、透明性が担保できれば問題はないだろう。

● 協定を急いで結ぶ必要があるか疑問である。協定締結の流れについては、先にある程度実績作りを行なった上で協定を結ぶのが良いだろう。したがって、昨年のプレセミナー2023「研究広報 PR！ ～メディア関係者とともに広報戦略を考える～」でメディ勉主催者にご登壇いただいていたが、今回のタイミングでの締結は時期尚早で難しいのではないだろう。

● 大学では、大学から何らかの情報を発信する時に、メディアが個人的に知る教員から個人的な情報を得てリークすることを防ぐため、既存のメディアとの包括的連携協定を結ぶことが推進されている。

● 科学的根拠に基づいた情報を発信する時に、相互の名称を使用する場合は、相互の合意が必要などの規定があると良い。

● 正しい情報をいかに広めていくか、そのためにメディアとどのような形で連携していくのが良いか、今後も検討を進めていく必要がある。

● 広報担当を中心に今後も個別に良いものは良いものとして、忠実に発信を進めていくのが良いだろう。

3. 日韓台セミナー（2024 年 10 月 25 日@釜山）における講演者および座長の旅費について、「国際化基金」より拠出することが承認された。

以上

一般社団法人 日本疫学会

議長 代表理事 玉腰 暁子

出席監事 横山 徹爾

同 和田 恵子